

## 令和4年度 第1回学校協議会報告

日時：令和4年10月15日(土)14:00～15:30

会場：東大谷高等学校 多目的室1

### 1. 学校長挨拶

- ・PTA 新会長紹介
- ・新管理職紹介（生活指導部長・進路指導部長・校務部長）

### 2. 協議会委員自己紹介（敬称略）

委員：東 京子氏（成美会役員） 丸岡俊介氏（近畿大学教職教育部教授 \* 欠席）  
中村俊一氏（立志館ゼミナール館長） 赤阪博之氏（堺市立三原台中学校校長）  
橋本朋子氏（令和4年度PTA会長） 宮坂政宏氏（週刊教育プロ編集員）

事務局：長尾文孝（校長） 市居政彦（教頭） 東 明美（教務部長）  
出水謙一郎（入試対策部長） 志藤真裕（情報部長） 吉永雅也（生活指導部長）  
久富正彦（校務部長） 甘木智美（進路指導部長）

### 3. 議事

(1) 議長選出 → 中村俊一氏（立志館ゼミナール館長）

(2) 本校の今後の取り組みなどについて

- ① 本校の現状（校長より）
- ② 2022年度高校入試結果
- ③ 2022年度大学入試結果
- ④ 大阪大谷大学との高大連携について
  - ・「薬剤師育成プログラム」
  - ・「教員育成プログラム」→ 本校参事も生徒サポートへ
- ⑤ 2022年度学校経営計画
  - a. 「人間教育をする進学校」の更なる徹底
    - ・宗教的情操教育
    - ・自ら考え行動できる生徒を育てる（フォーサイト手帳の活用、PDSサイクル）
    - ・進学校として生徒の進路希望を実現する
    - ・「10年未来プロジェクト」
    - ・進学コース → 高大連携の強化、指定校推薦枠の拡大、合格から入学までの学習指導
    - ・国際コース → 短期・長期留学、オンライン英会話、各検定、AI英語サポート導入
    - ・特進コース → 縦のつながりの強化、きめ細やかな進路指導  
学習時間の確保、BT（ベネフィシャルタイム）導入
  - b. 募集計画
    - ・全体で900名の確保
    - ・1人でも多くの生徒に来校していただく → OC、入試説明会等のイベント強化

・次年度相談基準の明確化 → 各種検定加点、実力テスト補正点を明文化して実施

⑥ 新型コロナウイルス感染症関連

- a. 安全対策 → 例年通り徹底
- b. 学力保障 → WEB 授業の実施
- c. 行事関係 → 中止せず内容変更・時期変更などで対応

⑦ 2 学期後半の主な行事紹介 ※講堂朝礼を例年通り実施している。

⑧ 「令和 4 年度学校経営計画及び自己評価」(校長より)

⑨ 「(講座学系 5 教科) 授業アンケート結果報告」(教頭より)

I. 生徒の授業への取り組みについて → 改善はみられるが肯定的回答で 100%を目指す

II. 生徒から授業・教員に対して → 改善はみられるが、肯定的回答で 100%を目指す

(3) その他

・次回第 2 回学校協議会 → 令和 5 年 3 月 4 日(土)14:00～、多目的教室 1 にて

◎協議会委員から「本校の取り組みについて」

- ・今後高校にも「スクールポリシー」の設定が求められる。入学者としてどういう生徒を求めるのか、3 年間でどのように育てるのか、どのような進学先を想定しているのか等について明文化の必要あり。
- ・学校案内を見れば「スクールポリシー」が十分に伝わってくる。再設定の必要性があるのか。
- ・「スクールポリシー」については、私学へお達しがきているのか。→ (事務局) これからかと。現時点での経営計画を整理してまとめる必要がある。
- ・18 歳成年対策は → (事務局) 基本的には家庭科で対応。SNS 対策は既に取り組んでいる。お金に関するものの教育(消費者金融、契約など)
- ・「BT」の可能性。ティーチングからコーチングへ。自らの意識付けが大切。
- ・「フォーサイト手帳」も活用できれば。生徒任せではなく先生が進捗状況を把握し生徒へ声掛けを。
- ・塾は教えるだけではなく復習にも重点を置く。どう復習するかで伸びが違う。
- ・私学として東大谷の取り組みの良い所を積極的に PR すべき。
- ・「AI」アプリの活用を積極的に取り入れる必要あり。
- ・「BT」について → (事務局) 各自の学習計画のカスタマイズを 2 人担任制でサポートする。
- ・「BT」について今後に期待感がある。報告を待つ。
- ・「BT」について、有効性に疑問を感じる。保護者にも経過、結果を発信してほしい
- ・防災教育について(台風等対策) 今夏私の中学校で浸水があり生徒が帰宅困難に。東大谷ではどのように対応するか。→ (事務局) 緊急時の連絡方法などの徹底。生徒全員分の 1 泊分を備蓄。
- ・防災の件について(広報誌「みはらだより」)
- ・「フェアキャスト」の活用についてはどのような状況か。→ (事務局) 入学時に全員登録(メール・電話・LINE)のお願いをしている。学校からの連絡に送達確認が約半数しか取れていない現状だ。
- ・緊急時の対応について、生徒に徹底していただければ

◎協議会委員から「学校経営計画について」

- ・「GIGA スクール構想」大阪府2年生の活用が非常に低いので強制的にタブレットを使用させている。高校ではどのように活用されているのか。→（事務局）各担当教員によって様々。授業の効率化を図る。「探究ゼミナール」や「情報」では大いに活用している。
- ・公立高校での活用方法を紹介する。ICT活用はグループ学習や知識の定着に効果あり。
- ・ICT教育は必要だが、実際に書く事（手作業）もした方が良いのではないか。
- ・今の大学の在学生について、読解力が非常に低い。東大谷でもしっかり教育をする必要あり。
- ・アンケート結果について 生徒と先生の信頼関係が良好であることがよくわかる。
- ・アンケート結果について 学習へのモチベーションがかなり上昇しているのではないか。
- ・成美会として何か寄与することができないか。一つとして、学校案内にも文化祭時の活動など同窓会との連携の一部を掲載していただけないか。
- ・イベントの発信について保護者にもっと公開してほしい。→（事務局）今後検討していく
- ・「働き方改革」について、どのような取り組みをしているか。→（事務局）休日取得や業務軽減に努めているが、結局部活動を担当する先生など特定の先生はどうしようもないのが現状である。